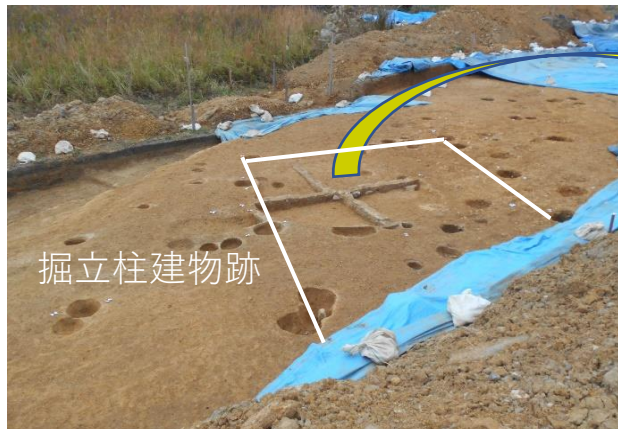


県営中山間総合整備尼寺地区ほ場整備に伴う 尼寺観音寺跡 現地公開資料 2021年12月6日

尼寺観音寺跡は、紀の川市貴志川町尼寺に位置します。今回の調査地は、観音寺の北、尼寺観音寺跡の北辺にあたり、過去に布目瓦ぬのめがわらが出土した寺院跡として知られています。当遺跡の西にある鳩羽山(標高265m)の南麓に岸宮祭祀遺跡きしみやさしいせきがあります。過去の発掘調査では、奈良時代から鎌倉時代の環状配石遺構・敷石遺構などが確認され、和鏡わきょうや緑釉陶器りよくゆうとうきなどが出土しました。

今回の調査では、中世以降の掘立柱建物跡2棟と柱穴群(写真①)、中世の土坑(写真②)、近世の溝(写真④)や土坑を確認しました。中世の柱穴から中国製青磁碗せいじわんの破片、中世の土坑から煮炊具や皿などが出土しています。当該地は北東から南西に低くなる地形であり、中世以降にこの斜面を整地して耕作地(写真③)を作っていた状況が確認されました。この整地土の中から、古墳時代の須恵器の杯つきや隼はそうの破片、古代の布目瓦、中世から近世の瓦、中国製青磁碗の破片などが出土しています。



①中世の掘立柱建物跡と土坑



②中世の土坑



③中世以降の耕作地の痕跡



④近世の石積溝の一部